

飯島耕一

Iijima Kōichi

暗殺百美人



飯島耕

三三三

暗殺百美人

著者略歴 1930年岡山に生まれる。1952年東京大学文学部仏文学科卒業。1953年詩集「他人の空」を出版。1955年シュルレアリスム研究会を設立、数年間続いた。詩集に「ゴヤのファースト・ネームは」、「虹の喜劇」、などがあり、評論集に「悪魔跋いの芸術論」、「日本のシュルレアリスム」、「アポリネール」、「シュルレアリスムという伝説」、などがある。小説集に「日は過ぎ去って」、「空想と探案」、「海への時間」、「別れた友」、「三つの物語」、「冬の幻」、「夢の過客」、「虹橋」がある。93年、私家版で「バルザック随想」を刊行。近刊予定の詩集に「猫と桃」、エッセイ集に「バルザックを読む漱石」がある。

暗殺百美人

一九九六年十月三十日発行 第一刷

著者 飯島耕一

編集人 安原 顯

発行人 太田雅男

装 幀 菊地信義

発行所 株式会社 学習研究社

東京都大田区上池台四〇―五

郵便番号 一四五

電話 03―三七二六―八一―

03―三四六二―七二―七四(編集部直通)

振替 〇〇一八〇―六一四二九三〇

印刷・製本 中央精版印刷株式会社

暗殺百美人

序 章

パウル・ヴンダーリッヒの

「黄昏」(1927年生まれの画家の、72年の絵画)

怖ろしい金属で蔽われた

若い女

ナオミは

男につきまとわれて二十世紀の最後の街を

逃げて行きつつ ある

乳房も ヘソも あおぐろい薄い金属

ナオミという名は

旧約の

ルツ記

に出て来る

〈わたしの最も愛らしい者〉

という意味

だという

それにしても

どうして

ナオミは

逃げて行かねば

消え去って

行かねば

ならないのか

双つの眼を大きくみひらいて

背後の夕焼けに

空の寂寥などは

もう

かけらもない

すべての戦いの

終りは

まだ熱い

戦後の

真昼だったのに

デクーニングやポロックや読売アンデパンダンの

猫ぬすむ

幾黄昏を

行きかへり

——晋子しんし

パウル・ヴンダーリッヒの女の

金属の塔頂に蔽われた頭部

まるい美しい乳房も光る金属に蔽われて

触れてみるができない

ナオミの美しい裸身は

いつ触れてみるができるのだろうか？

〈わたしの最も愛らしい者〉

潰島田つぶしまた

ハイドンのオラトリオ

異人室内、中にも重金なる美製の燈台見事にかざりあり

二百年前の

ノルマンディー

ブルターニュの 王党派の

暗殺者 怖れを知らぬ

カドゥーダル

カドゥーダルは

夜の アジヨンの

緑の中に

しゃがんでいた

闇の中に

濃い緑が匂った

この時 カドゥーダルの血の中で身体しんたいの中で痛がっていたのは

みちのくの血だ

ブルターニュという みちのくの血

脱色金髪の三十四歳の青年は、1994年の東京で、ジョルジュ・カドゥーダルのことを考
えつつあった。

ヴァンデ軍は、北仏ノルマンディーのコタンタン半島グランヴィルの海岸まで辿り着くこと
さえできれば、イギリスの軍艦が迎えに来てくれるとの望みを抱いていた。だが、立ち籠めた
霧のようやく薄らいだ海峡を見渡しても頼みとするイギリスの軍艦の姿はなく、共和主義者の
軍に反撃され、止むなく南へと退く。

共和暦二年（1793年）、霜月二十二日（12月12日）、ル・マンの地において、ヴァンデ軍は
敗退する。ル・マンから西方ラヴァルにかけての道端には、数限りもない死体が積み重ねられ、
革命側の青の騎馬兵フルはそれを蹄にかけて駆けまわった。

12月19日、二十四歳の太尉ナポレオン・ボナパルトは、イギリス軍と王党派からトゥーロン港を奪回していた。

「カドゥーダルはグランヴィルでもル・マンでも戦った。〈ふくろう党〉を率いてゲリラ戦を展開したわけさ」

「共和側は戦闘のさなかに調べ上げて、反乱のヴァンデ軍や〈ふくろう党〉の指導者やヒーローたちの肖像画集を作っていたというんだからな」

「刃向かう側には、確かに貪欲な農民とか、好色漢とか、ならず者に近い連中もいたけれど、その反乱者たちの肖像画集は聖人たちのそれにも似ていたという」

1994年。

東洋のこの島国の、歴史も人間の体温も反逆心も一切剥奪されたかのような三十四歳の青年は、ジョルジュ・カドゥーダルという全身反逆の血に滾っているような男の名をはじめて知っていた。カドゥーダルは檣山佐渡だったのか、会津か？ 二本松か？ 北越の血か？ 河井継之助か？ 大王の軍にさからったみちのくの血か？……

共和曆三年（1795年）、兩月ブリュヴィオズ二十四日（2月12日）、ヴァンデ軍の首領のシヤレットと国民公会の和平交渉がナント郊外で開かれた。

カドゥーダルの名が人々の間に浮かび上がるのは、その年、花月フロレアル一日（4月20日）の、レンヌ近郊での共和国政府との対面の席である。

收穫月八日（6月22日）、イギリス艦隊はカルナックの海岸に四千人のフランス人亡命者と捕虜によって構成される師団を上陸させ、これにシヤレット麾下の〈ふくろう党〉が加わる。

「何千ものル・メネクの巨石列、ケルマリオの巨石列の夜闇に沈む土地カルナック」。彼らは細い砂の半島の突っ先にあるキブロン要塞に入り、奪われていたカドゥーダルの生まれ故郷オーレイを取り戻した。「泉の奥の森に碎石づくりの寺院があつて、長い一日が終る時刻、塗物の赤い太陽が、海中にゆっくりと落ちるんだよ。ヒースの厚ぼったい絨毯がひろがり、オーレイの町には古い教会があつて」。6月30日、共和側のオッシュ將軍が再びオーレイを奪回し、キブロンを攻撃する。7月21日、イギリス軍と亡命者軍は敗北し〈ふくろう党〉は放免され、七百四十八人の亡命軍は銃殺される。

霧月二十七日（11月18日）、イギリスへ亡命したルイ十八世の弟アルトワ伯は、9月30日に、兵とともにフランス領のユ島に上陸していたが、フランス本土に足を踏み入れることなく空し

くイギリスに戻る。ユ島には時経って一九四五年、いったん死刑宣告を受けたペタン元帥がその死まで幽閉される。若いカドゥーダルは「血の色の夢」と名付けられたキブロンとの戦いに敗退した後、ブレストで虜囚となったが、脱獄し、なおも屈せず地下での抵抗を続ける。

共和暦四年（1796年）、風月六日（2月25日）、ヴァンデ反乱軍の首領ストッフレが共和国軍の手で銃殺された。3月23日、ヴァンデ反乱党の最後の首領シャレットが捕縛され、5月29日にナントで銃殺された。一方、4月11日、コルシカ人は勇躍イタリア遠征に出發する。

共和暦四年（1796年）、收穫月メシドル四日（6月22日）、カドゥーダルは宿敵オッシュに敗北し、ノルマンディーの反乱党首領のプロテはイギリスに向けて逃亡する。

共和暦八年（1799年）、葡萄月二十二日（10月14日）、ブルモンの率いる反乱党はフランス北西部のサルト県のル・マンを占領した。反乱者たちは讚美歌をうたい、首にロザリオを巻いて、まっしぐらに敵に向かって突き進んだ。だがル・マンの占拠は長続きしない。蜂起が遅すぎたのだ。

ル・マン……一九四四年八月、コタンタン半島グランヴィルの南、ブルターニュのモン・サン・ミッシェル北方の海岸に上陸したアメリカ軍は、退却するナチスドイツ軍を追ってル・マンを通過し、シャルトルを経由、パリに入っていた。パリの民衆は歓喜の叫び声を挙げていた。

一部の軍は、シャルトルからパリの南に当るフォンテンブローの森に向かった。

「ル・マンに行ったんですよ、去年の秋」と、男の声がした。「駅前にボロボロに古びた銀河^{オテル}屋旅館^{ド・ギヤクシ}なんてのがあったりして、とてもここがああ、ル・マンだなどとは信じられなかった。

ル・マンは幕臣の最後の外国奉行だった栗本鯉^{こい}がナポレオン三世に拝謁し、大政奉還に驚愕して間もない一八七〇年頃には自動車工場の町になっているんだよね」

「そうなのよ。十九世紀の終りにはスポーツカーの製造が始まって、二十世紀も二〇年代になるともう〈24時間自動車競争〉なんだから……ル・マン、そしてサルト川沿いに北に位置する古い町アランソン、さらに西のブルターニュのマイエンヌ川のあたりは、バルザックの小説の舞台……森の木々と美しい六月のル・マンで、何十台のマシンの凄絶な戦^{バトル}いがくりひろげられるのよね、ナポレオンへの抵抗者、反乱者たちが同じル・マンで、凄絶な戦^{バトル}いを敢行したようにね……讃美歌をうたい、首にロザリオを巻いて、まっしぐらに……」

1800年2月14日、反乱党员カドゥーダルはコルシカ人と停戦の約を結んだ。ナポレオン・ボナパルトは、3月、カドゥーダルに対して、將軍の称号を与え十万フランの年金を払うと伝えたが、抵抗者カドゥーダルはこれを拒否し、イギリスに渡った。

イタリアのイモラで五月一日行われた自動車レースF1シリーズ第3戦、サンマリノ・グランプリ決勝で走行中、壁に激突して脳死状態になっていた人気ドライバー、アイルトン・セナ（34）は、同日夕、死亡した。治療に当たった医師は「あらゆる処置を施したが、午後六時四十分、心臓の鼓動が停止した」と発表した。セナは時速約三〇〇キロで走行中、タンブレロと呼ばれるカーブを曲がり切れずに壁に激突。意識不明の状態で医師の緊急処置を受け、ヘリコプターで病院へと運ばれたが、頭の骨を折っていた。サンマリノ・グランプリでは前日も、オーストリアのローランド・ラッツェンベルガーが壁に激突して死亡しており、一日夜のイタリア国営放送のニュースはF1レースを、一度重なる事故と人の死を横目に継続されていく、恥ずべきグランプリとコメントした（読売新聞・ローマ＝小里 仁）。

セナが運転していたウィリアム・ルノーは、92・93年に圧倒的な強さで年間王者に輝いた車で、強さの秘密は、コンピュータ制御された「アクティブ・サスペンション」に代表されるハイテク装備にあるといわれた。車の姿勢を一定に保つアクティブ・サスペンションは、ドライバーの技術を助ける手段になっていた。

ただ完成度は各チームによって開きがあり、使いこなせないチームはまったく優勝争いにか
らむことがなくなっていた。

FIAは、興行面に悪影響を及ぼすこと、ハイテクによってドライバーの運転技術の比重が
下がりスポーツ性が失われたことを憂慮、今年からハイテク禁止を打ち出していた。

カメラを向けると幕末の女たちもあっさりと着物を脱いだ。西洋人の写真家のカメラという
機械は十九世紀後半から力を発揮した。なぜ、女たちはカメラが近づいてくると、抵抗も弱く、
白らを開いてしまうのか。機械に愛想笑いをして、家の中に引き入れるのか？ カメラへの無
抵抗はおよそ一八六〇年に始まっていた。

兵庫髷や、天神髷や、桃割れの幕末の若い女たちは、カメラという機械が近づいてくると胸
元をゆるめ、こぼれる白い乳房を見せ、また別の娘たちは白い腰巻おこし一つで行水に入る真似をし
た。桶と手拭をそれぞれの手に、真剣な顔つきで乳房をカメラに曝した。行灯の光のもとに肌
ぬぎになり、ついで横たわる女さえもいた。